

# カーボンレポート

## 東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO<sub>2</sub>排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0905

報告書提出  
事業者名

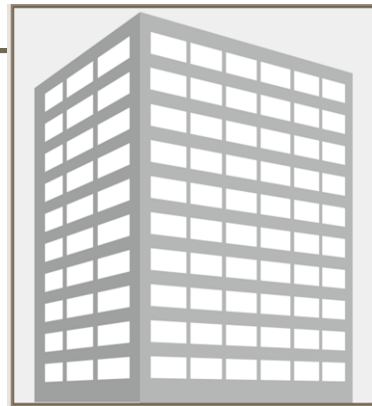
三井住友信託銀行株式会社

事業所名

サミット王子桜田通り店

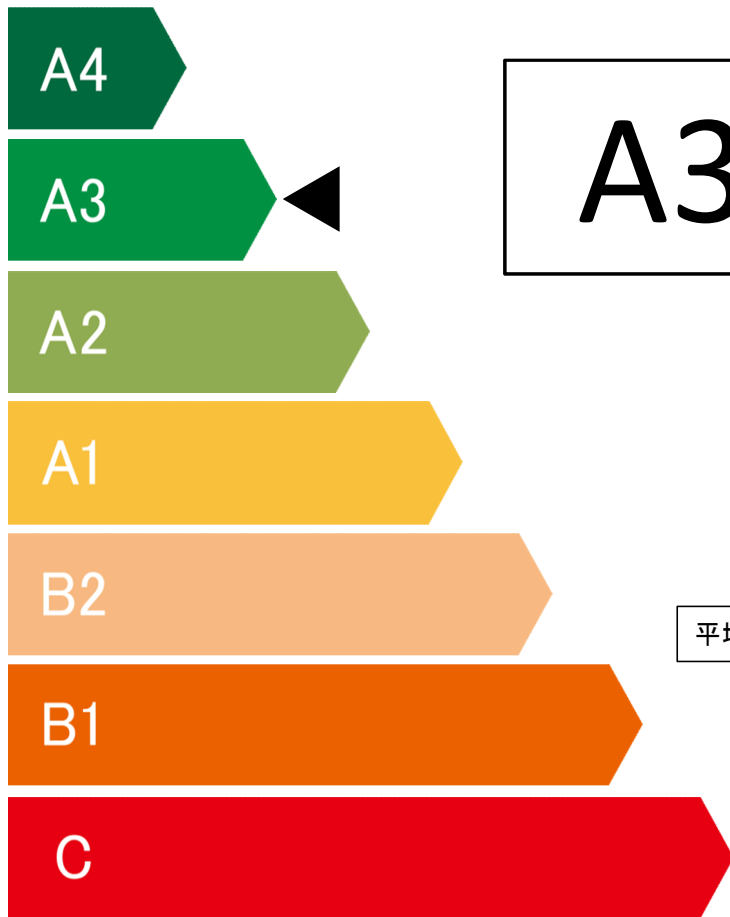
住 所

東京都北区王子5-1-40



実績年度	年間CO <sub>2</sub> 排出量	延床面積	CO <sub>2</sub> 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO <sub>2</sub> 排出量)	主たる用途
2020年	913 t	8018.11 m <sup>2</sup>	113.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	商業施設(物販)

### ベンチマーク区分:テナントビル(商業複合系、中規模)



ベンチマーク レンジ	CO <sub>2</sub> 排出原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )の範囲	
A4	~	96.2
A3+	96.2	~ 104.9
A3	104.9	~ 113.7
A3-	113.7	~ 122.4
A2+	122.4	~ 131.1
A2	131.1	~ 139.9
A2-	139.9	~ 148.6
A1+	148.6	~ 157.4
A1	157.4	~ 166.1
A1-	166.1	~ 174.8
B2+	174.8	~ 183.6
B2	183.6	~ 192.3
B2-	192.3	~ 201.1
B1	201.1	~ 262.2
C	262.2	~

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO<sub>2</sub>排出水準(CO<sub>2</sub>排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO<sub>2</sub>排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の使用状況の把握	エネルギー使用量の前年度比較	過去のデータによる傾向の把握
運用対策	空室・不在時等のこまめな消灯	外灯等の点灯時間の季節別管理
	空室・不在時等の空調停止	季節に応じた温度設定の見直し
	事務用機器を省エネモードに設定	バックヤードのこまめな消灯
	営業前後の売り場不要照明の停止	冷凍機の管理・運転適正化
	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	
設備保守対策	ランプ等の定期的な清掃・交換	換気フィルターの清掃・点検
	中央熱源機器等の定期点検の実施	
	空調フィルターの清掃・点検	
設備導入対策	高効率照明ランプの採用(屋内)	更新に合わせた高効率機器の採用

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

◆ 注記

ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位(延床面積当りの年間CO<sub>2</sub>排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO<sub>2</sub>排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO<sub>2</sub>排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。